

# あいコープ放射能自主測定ニュース

No. 92 2013年9月4回

## 生産者の取り組み

—放射能対策をしています—

西沢農園

### 『美味しさ』を追求できる農業へ



梨の作業の様子。今年の生育は順調です。7月、8月ともまとまった降雨があり、昨年のような畑の水不足状態はみられません。台風とカラスの被害がないことを祈るばかりです。

### 生産者も 精一杯頑張っていることを 忘れないで下さい

放射能問題は今後もずっと付き合うものです。今もくすぶっている溶融核燃料が「安全」かつ「完全」に処分されて、本当に安心できるでしょう。子供の代か、孫の代か…解決には長い時間を要すると覚悟しています。私たち農家も精一杯頑張っていることを忘れないで下さい。覚悟はある意味あきらめの部分もあります。幸い、周りの農家でやめようという人は一人もいません。作る仲間もいて、私たちの梨を楽しみにしてくれるみなさんもいる。梨作りを続けていける、私の大きな支えです。震災前までは「美味しさ」一番に栽培をしてきました。ところが、原発事故により「安全」が一番、美味しさはその次になった。ここ2年の経過をみて、そろそろ「美味しさ」一番の原点に立ち返ってみようと思う。もちろん、放射能や農薬、環境の面での「安全・安心」にも目を向けて。

### 地域一丸となって取り組む対策

2012年福島市全域で、市とJAが中心となり果樹の粗皮削りおよび高圧洗浄機による表面洗浄を実施しました。その効果もあってか、今年収穫の梨も不検出でした(右記結果参照)。出荷にあたり、収穫2日前に、生産者全戸がサンプル提出し、JAおよび行政機関が測定を実施。基準値以下を確認したものだけが収穫、出荷されます。現在、JAが15台、各市町村で2台、個人所有の方も増え、地域で測定機器が十分に配置されました。網羅的な検査が実施され、かつ不検出が確認されています。

「フクシマ」という響きは、どこか買い控えるイメージが残っている方もいるでしょう。数値が出ても、出なくても、私たちは情報を発信し続け、現状を隠さず伝えることが大切です。最後は消費者の方の判断に委ねようと思います。

西沢農園  
西沢さんご夫婦



10月3回企画  
福島の梨  
二十世紀